

平成28年4月21日

各支店長 殿

代表取締役副社長 狩野正夫

## 熊本地震発生にともなう被害状況と社内対応のご報告

4月14日21時26分発生の前震（震度7、マグニチュード6.5）を初回として、4月16日1時25分の本震（震度7、マグニチュード7.3）の発生、さらに震度6弱、5強の余震が連続し、熊本県熊本地方を中心に阿蘇地方および大分県にわたる広範囲で、甚大な被害をもたらし、いまだに余震が続いていることは皆様ご周知の通りです。

地震発生から一週間を経過したわけですが、熊本市周辺地域では、かろうじて電気は復旧しているものの、未だ水道やガスの復旧が遅れ、強い余震の恐怖から夜が怖い為に従業員およびご家族の中には避難所生活を余儀なくされている方々もいらっしゃる状況です。

被災者各位に対しまして衷心よりお見舞い申し上げます。

また、マスコミ、各メディア報道によれば熊本県庁には豊富な援助物資が山積みされておりますが、人手不足により対応が出来ない為に、避難者一人ひとりに食料や水が行き渡らない状況により、熊本太平の従業員の方々、とりわけ熊本市内及び周辺勤務者への支援物資の援助が必要なことから、福岡太平、北九州支店、長崎支店のご協力により、4月19日に下妻専務指揮の基で高速道路と一般道を使用し4時間（通常高速で1時間30分程度）をかけて車両4台で熊本太平の事務所並びに現場に配達させて頂きました。

各店におかれましても援助の申し出やご心配から被災地の現状確認の電話を本社に頂いているのが実態であります。

以上のことから、まず本社震災対策本部で把握をしている情報を全国の各店の皆様にご報告したいと考えます。

### 記

#### 1. 熊本地震発生による従業員の安否の確認状況について

4月18日（月）午前7時現在 当社従業員全員の無事が確認できました。

ただし、1名の従業員の方が両足に火傷、1名の従業員の方が足に軽傷を負ったという報告が熊本太平より入っております。

また、ご家族（妻・長女）が軽傷を負った方、ご家族（妻・夫）が各々体調不良の方がいらっしゃいます。

## 2. 熊本県熊本地方を中心とする従業員の被災状況の概略について

### (1) 従業員の自宅の被害状況

自宅の半壊 2名 自宅の一部損壊 16名 家財の被害 111名

### (2) 避難所で生活中的従業員の方

22名 (22家族)

## 3. 支援物資の状況について

### (1) 福岡太平・北九州支店・長崎支店からの支援物資

① 水 (ペットボトル500ml)	1, 260本
② 食糧 電子レンジで食べられるもの 165名分	其々人数分
③ トイレットペーパー	480個
④ ウェットティッシュ	400箱
⑤ 生理用品	48個
⑥ 紙おむつ	L4, M4
⑦ 紙コップ	200個
⑧ 紙皿	200枚
⑨ 割り箸	400本
⑩ スプーン (使い捨て)	200本

### (2) 東京支店からの支援物資

① アルファーマ	300食
② 500ml ペットボトル水	240本

### (3) 総本社からの支援物資

①食料品 (カレーメイト、羊羹、マジックライス保存食等)	200食程度
②ウオーターパック (水)、ダイドードリンコ (水)	287本
③簡易トイレ	560袋
④ボディータオル、コンタクト保存液、軍手タオル等	34個

## 4. 顧客の被害状況について

詳細については余震の状況によりますが、建物や設備の一部損壊等が多数ありますし、全国の共通顧客先であります株式会社NJK様、株式会社ニトリ様、IKEA様、ホテルドーミーイン様等店舗休業を余儀なくされている顧客先もあります。特に共通顧客先につきましては熊本の被災状況を担当者を確認される場合もあると思われませんが、熊本太平で全力で、人の手配、修繕対応していることをお知らせしますので、直接現地に確認依頼をすることのないように願います。

以上